

川崎陸送

QC代表大会をオンラインで開催

マスクコンテストの途中経過も発表

川崎陸送(本社・東京都港区、樋口恵一社長)は7日、第53回QC代表大会をオンライン方式で開催し、131人が参加した。地区の予選を勝ち抜いた10サークルが取り組みを発表。

審査の結果、業務の共有化に取り組んだ、京都営業所の「ナイトクラブ」が優秀賞に、飲料作業の効率化を図った葛西流通センターの「葛西の達人」が優良賞に、申告書作成ミス削減に挑

戦した通関東京営業所の「湾岸クラブ」が努力賞に選ばれた。また、社内でユニークなマスクコンテスト」の途中経過も発表された。

開催にあたり樋口社長は「コロナ禍で心配されたが、業績は予算を上回って推移している。昨年のうちに不採算業務を整理し、構造改革を行ったことが大きい」としたうえで、「GOT

ープではコロナの感染者が一人も出ていないありがたい状況だが、『どこかで当たってしまっただ』らその人が悪いのではなく、風邪を引いたのと同じように皆で支え合うことが大事。高熱が出た時に隠さないことが、自分たちにとってもお客様にとっても安心につながる」と語った。

10チームの活動および改善提案制度の表彰提案事例を発表後、審査委員長の樋口由人取締役が全体講評を行い、「オンライン方式だったがスムーズに開催でき、質疑応答も活発だった。QCサークルは仕事の一部であり、PDCAは1回で終わらせないようにしてほしい」と助言した。



マスクコンテストでは第1次選考の結果を発表

今後社内報で投票を行い、日に最終審査を実施する。 30



オンライン表彰式
(「ナイトクラブ」と樋口社長)

0キャンペーンがあろうとなかろうと、1〜2割少ない物量の中で仕事をしなければならぬと自覚する必要がある」と指摘した。

また、「1月下旬から、グル